



金融と経済 を考える 高校生小論文 コンクール



金融広報中央委員会は
全国の高校生・高等専門学校生・高等専修学校生等を対象に
「金融と経済を考える」小論文を募集しています。
みなさんがふだん考えていること、
調べたことなどをまとめてご応募ください。

特選5編

(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞

文部科学大臣賞

日本銀行総裁賞

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

金融広報中央委員会会長賞

秀作5編

(賞状と奨学金3万円)

佳作10編(賞状と図書カード6千円分)

学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)

9月20日
しめきり!!
消印有効



テーマは、金融や経済に関するものであれば、どのようなものでも構いません。テーマを考えたときの参考として、以下に例を示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。テーマを決めた後、作品の内容にふさわしいタイトル(題)をつけてください。

◆テーマの例

1. あなたのライフプランと働くことについて

あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職をつける、会社で働く、起業するなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

2. 日本のこれからを考える

現在の日本には、少子高齢化の進行、労働力人口の減少、政府債務残高の増大、若年層を中心とする雇用問題など、様々な問題があるといわれています。また、新興国の経済力の高まりなどを背景に、海外との関わりも変化しています。これからの日本はどのような経済社会を目指すべきでしょうか。具体的な問題とその克服に向けたアイデアを中心に、あなたの考えをまとめてみてください。

3. 日本経済を活性化する将来有望な産業とは

新エネルギーの利用や環境にやさしいエコ商品、あるいはデジタル関連サービスやゲーム・アニメといったコンテンツ産業——。新たな経済活動が活発になっています。観光や特産品による地域おこしの動きも、全国各地で見られます。あなたが注目する産業について特徴をまとめ、将来有望であると考えられる理由を述べてみましょう。

4. 消費者としてのルール

ものを買う、サービスを利用するなど、消費者として行動する際に、あなた自身やあなたの家族で決めているルールはありますか。また、消費者トラブルに巻き込まれないためにどうすればよいと思いますか。2022年4月に成年年齢が18歳に引き下げられることも踏まえ、なるべく具体的に、あなたの考えをまとめてみてください。

第19回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生

[賞] ●特選 5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と奨学金3万円)

●佳作 10編(賞状と図書カード6千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2021年9月20日(月)※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って

応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2021.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2021.jp/>



小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」という4つの分野に分けられ、「生きる力」の育成にもつながります。小論文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

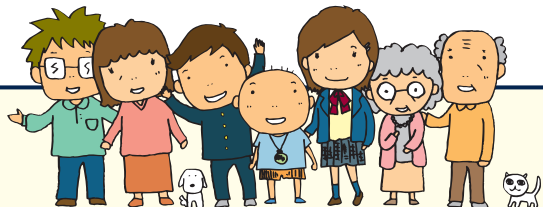
金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

自分の将来のために、いま考えよう!

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。

金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。去年は、全国から1,802点の作品が寄せられ、40点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/



第18回
(2020)

受賞作品の紹介

金融担当大臣賞

祖母から学んだ経済戦略
大分県 大分東明高等学校 2年
安部 萌由子さん

作品の内容 別府明彦(みょうぼん)温泉名物「地獄蒸しプリン」の生みの親である祖母から、「常に周りに目を向ける」「自分の「したい」を実行に移す」「気張らない」という仕事に対する姿勢を学んだ筆者。祖母のプリン屋が24年間続き、利益を上げることができたのは、仕事を楽しむ心がお客さんに伝わったのではと分析し、自身も祖母を目標に多くの教養と経験を積みたいと結びます。「祖母の体験をかみ砕いて分析している」点が評価されました。

受賞者の声 私はもともと小論文を書くのが得意ではなく、最初は何を書けばいいのかわかりませんでした。そこで目をつけたのが祖母の体験でした。「小論文」と聞くと、難しいイメージを持つ人が多いと思いますが、身近に目を向けると題材はたくさん転がっています。体験談を話してくれた祖母に、感謝しています。

文部科学大臣賞

株式投資で考える日本の未来
茨城県 江戸川学園取手高等学校 1年
森矢 あかりさん

作品の内容 コロナ禍で応援したい企業に対し、特別定額給付金を元手に株式投資を始めた筆者。投資を学ぶ中で、日本の個人金融資産に占める投資商品の割合が、先進国の中で圧倒的に低いことを知ります。段階的に踏み込んだ金融教育が行われれば、資産運用に興味を持つ人が増えるのではと考察を深め、これからも寄付や投資を経験し、できる範囲で日本経済に貢献したいと結びます。「多様な側面から捉え、具体的で深い考察」と評されました。

受賞者の声 コロナ禍だからこそ投資という経験ができ、経済についても学びを深めることができました。禍福は糾える縄の如しと言います。生きていく上で状況が変わらないということはありません。その時々で状況に応じてできることを、今後とも最大限努力して参ります。

日本銀行総裁賞

自然と共存し人に優しい農業とは
鳥取県 鳥取県立日野高等学校 1年
白迫 健翔さん

作品の内容 曾祖母の影響で農業を学ぶ高校に進学した筆者。入学式当日に他界した曾祖母から「バトンを渡された」と感じた筆者は、農業で働きに見合った収入、安定した収入を得るにはどうすべきか、関係者に話を聞き、農作物の流通について理解を深めていきます。そして、自然と共存した農業、無農薬の作物の良さを伝えることを目標に、夢の実現のため努力すると誓います。「高校1年生ながら進む道を宣言した清々しい文章」と評されました。

受賞者の声 農業をしたいという決意と農業の重要さを知ってほしい思いで書きました。その思いを高く評価していただけて大変嬉しいのと同時に信じられない気持ちでいっぱいです。生きていくためには欠かせない「食」を支える農業の魅力を多くの人に知ってほしいです。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

お金がすべてじゃない
東京都 東京都立国際高等学校 2年
山崎 帆希さん

作品の内容 「お金と幸せ」の関係を探るため、自らアンケートを実施した筆者。花屋を営む父から「お金は努力の対価であり、それ以上にお客様の喜びや笑顔に幸せを感じる」との考えを聞きます。さらに、国際的なデータの考察から、お金の幸せの基準と考えていない人が多いとの結論に至り、「幸せの基準をお金に合わせている人に対し、一番必要なものはお金ではないと伝えたい」と結びます。「オリジナリティが感じられる展開」と評されました。

受賞者の声 日々の生活で幸せの基準をお金に合わせようと思うことは私も含め、誰にでもあることだと思います。この小論文を読み返して改めて、お金に左右されず、自分が心からやりたいと思うことを選択して、幸せを感じられる人になりたいと思いました。

金融広報中央委員会会長賞

これからの消費者教育の在り方
兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年
江崎 友紀さん

作品の内容 パン屋で有料レジ袋を初めて購入した際に「立派な契約だね」と母に言われ、身の回りのほとんどのことは「契約」で成立していると気付いた筆者。民法改正により18歳で「大人」になる筆者は、18歳で自己決定権が尊重され、社会参加が促進できる反面、社会経験の浅い新成人が悪徳業者に騙されないよう消費者教育を充実させる必要があると論じます。「消費者教育の重要性について自分の意見をしっかりと述べている」と評されました。

受賞者の声 消費者教育は、今後ますます重要になり、前進していかななくてはなりません。正しい知識と適切な判断力を身に付け、活気ある社会参加を目指します。そして、私を含めた若い世代が日本経済に新しい風を吹き込めるような社会となることを願っています。

秀作

現金とキャッシュレス決済が共存する為に
青森県 青森明の星高等学校 2年
肴森 ほの花さん

外国人労働者と貧困
東京都 東京都立国際高等学校 2年
金井 美樹さん

これからの日本において
大分県 大分東明高等学校 2年
鳥井 ゆりあさん

みんなで豊かになるために
大分県 大分東明高等学校 2年
宮川 桜さん

笑顔を守りたい
愛知県 愛知県立半田商業高等学校 3年
大堀 ありさん

学校賞

茨城県 江戸川学園取手高等学校
東京都 東京都立国際高等学校
兵庫県 西宮市立西宮高等学校
鳥取県 鳥取県立日野高等学校
大分県 大分東明高等学校

第18回
審査員
(敬称略)

天野 晴子(日本女子大学教授) 松島 斉(東京大学大学院教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士)
中村 香織(金融庁総合政策局総合政策課総合政策管理官) 藤野 敦(文部科学省初等中等教育局視学官) 大山 敏(全国公民科・社会科教育研究会会長)
林 新一郎(日本銀行情報サービス局長) 武井 敏一(金融広報中央委員会会長)

